

講義科目名称： 日本国憲法(H)

授業コード： 51101600

英文科目名称： Japanese Constitution

|        |     |     |        |
|--------|-----|-----|--------|
| 開講期間   | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 後期     | 1   | 2   | 選択     |
| 担当教員   |     |     |        |
| 板東 一仁  |     |     |        |
| 火2     |     |     |        |
| 添付ファイル |     |     |        |
|        |     |     |        |

|          |   |
|----------|---|
| 科目の概要    | <p>憲法は、国の最高法規であるとともに日々の生活に深く関わりのある法律です。日本国憲法は、第2次世界大戦後、GHQの占領下という特殊な状況下で制定されましたが、戦後70年近くの長きにわたり、日本国統治の指針として大きな役割を果たしてきました。その基本理念は、国民主権、基本的人権の尊重、恒久平和主義という世界に誇れるべきものであり、その理念の理解と具体的内容の習得に努めたいと思います。授業の前半では、人権に関する問題(自由権としての子どもの人権、外国人の人権、男女平等、教育権等)を判例を通じて学習し、新しい権利として、環境権やプライバシー権についても考えてもらいます。後半では、日本国憲法の今日的課題である憲法改正や地方分権について学習します。調整の上、大阪地方裁判所裁判官による特別授業も取り入れ多角的に憲法問題の学習を行います。</p>   |
| 授業の内容    | <p>第1回 はじめに 法学(憲法)授業の進め方<br/>教科書、憲法ノート、判例を使った授業の進め方、ポイントの捉え方を説明します。</p> <p>第2回 憲法(人権)の歴史<br/>18世紀、19世紀、20世紀と人権がどのように発展したかを学びます。</p> <p>第3回 日本国憲法の原理と特色<br/>日本国憲法の基本原理について説明します。</p> <p>第4回 基本的人権総論<br/>憲法11条から14条までの総則的規定について学びます。</p> <p>第5回 個人の尊厳 子どもの人権、外国人の人権<br/>学則を中心に子どもの人権及び在留外国人の人権について学びます。</p> <p>第6回 プライバシー権と情報公開<br/>プライバシー権はどのようなものか判例を通して学びます。</p> <p>第7回 法の下での平等 男女平等と民法<br/>法の下での平等について、男性と女性でどのように取り扱いが違うか判例を通じて学びます。</p> <p>第8回 表現の自由と教育権 教科書検定<br/>教科書検定制度を通じて表現の自由と教育権の内容について学びます。</p> <p>第9回 生存権 生活保護制度<br/>生活保護の裁判を通して生存権について学びます。</p> <p>第10回 個人の尊厳 死刑制度<br/>死刑制度の是非を個人の尊厳との関係で学びます。</p> <p>第11回 象徴天皇制<br/>憲法上天皇制とはどのようなものかについて説明します。</p> <p>第12回 平和主義 自衛隊と戦争放棄<br/>憲法9条と自衛隊について関係法令とともに説明します。</p> <p>第13回 司法 裁判員制度<br/>日本の司法制度について裁判員制度とともに説明します。</p> <p>第14回 地方自治 地方分権<br/>日本の地方自治制度について国と地方の関係を中心に説明します。</p> <p>第15回 憲法改正<br/>憲法改正手続きと政党の改正案について説明します。</p> <p>定期試験</p> |
| 学習到達目標   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の基本理念と特徴を説明できる</li> <li>・教育問題と憲法について説明できる</li> <li>・福祉に関する憲法の考え方を説明できる</li> <li>・日本の裁判制度を説明できる</li> <li>・最高裁判所の違憲判例を3つ以上説明できる</li> <li>・憲法改正について説明できる・男女平等と民法との関係を説明できる</li> <li>・環境権、プライバシー権を説明できる</li> </ul>   |
| 授業の方法    | 講義  |
| 成績評価の方法  | 演習及びレポート(30点)、期末試験(70点)   |
| 教科書・テキスト | 初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行著「いちばんやさしい憲法入門」第6版補訂版<br>有斐閣レジメ、関係資料(授業時配布)  |

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 参考書                       | 渋谷秀樹「憲法への招待」新版 岩波新書長谷部恭男「憲法とは何か」岩波新書木村草汰「憲法の創造力」NHK出版新書別冊ジュリスト「憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ」第5版 有斐閣 |
| 授業時間外の学修について（事前・事後学習について） | 憲法に関する報道や裁判報道に関心を持つこと<br>事前に教科書を読んで授業を受けること                                      |
| 履修上の留意事項                  | 教科書は必ず持参すること<br>静かに授業を受講すること   |
| オフィスアワー                   | 相談等は授業時間の前後に控え室にて直接対応  |
| 実務経験                      |  |
| その他                       | 特になし   |